

ボランティア活動グループ訪問記

オジャマシマ



まるさき福祉会の活動

一生を幸福に過ごせる地域をめざして

久しぶりに晴れ上がった空のもと、訪れた「燈(あかり)」は楽しそうな笑い声のする福祉施設でした。出迎えてくださったのは、NPO法人まるさき福祉会理事長の中館渉さん。肩書きからもっと厳しい



しい雰囲気を感じていましたが、暖かい笑顔とかわらぬ声「こちらもつい引き込まれて、リラックスした雰囲気のなかでの取材になりました。

中館さんは大学で教育学を学び、たくさん障がい児と関わるなかで感じるものがあり、福祉施設に就職。現場での経験を積んだのち、同じ理想を持つ仲間数人とこの事業を立ち上げたそうです。



理事長の中館さん(左)と専務の松浦さん

先月、当ボランティア協会主催の子どもボウリング大会「ちゅうりんぐ」に心温まる寄付をしてくださいましたのも、さまざまな事情を抱えた子供たちに少しでも楽しい思い出を作ってもらいたいという思いから「だとお話くださいいま

した。

「自分の生れ育った上溝を中心に、地域に暮らす人たちが年齢や障がいなどの有無を越えた交流の中から、少しでも笑顔の増える地域になるよう活動していきたい」という理想を実現するために、令和3年の創設以来、さまざまな拠点を展開し続けています。

例えば上溝駅に近い「ハンドメイドショップ」路(みち)は地域の福祉施設の利用者さんが作った自主生産品の販売や駄菓子販売をしています。また近隣の方たちが一杯100円で気軽に「コーヒ」を飲むことができ、地域の人たちが気軽に過ごせるように工夫されています。将来は商店街との連携も考えておられるようです。

その他、障害児者相談支援事業所の「彩(いろは)」や、保育所等の訪問支援事業所「陽(ひなた)」などを開設していますが、年内には重症心身者の方をメインにした共同生活援助事業所を開設する予定だということでした。この施設は、当ボランティア協会のハンディキャップ利用者も開設を待っている期待の施設です。

「福祉サービスが必要とする人が安心・安全に日常を過ごせる支援に加え、社会の一員としての意識向上をはかれる事業をめざし、地域の方々や関係団体と連携、協力しあえる社会になって欲しい」と語る中館さんの口調には、穏やかな表情とは裏腹に、たぎるような情熱がこもっています。

帰るぎわに「目をあげると、丸崎交差点の信号がよく見えました。



まるさき福祉会の3本柱

- ・地域に根差した事業所
- ・地域に貢献できる法人

・地域の人たちと共に歩んでいく

という設立理念が「まるさき福祉会」として名前前にしっかりと刻まれていると感じられ、これからの未来の発展とともに、当協会でも連携し合ってゆける未来を描きながら帰路につきましました。(恒藤・小川)



\*特定非営利活動法人 まるさき福祉会  
理事長 中館渉

〒252-0243 相模原市中央区上溝1464-6

\*まるさき福祉会の事業所

- ・生活介護「燈(あかり)」
- ・生活介護「路(みち)」
- ・共同生活援助「笑(えむ) 年内開所予定
- ・障害者・障害児相談支援事業「彩(いろは)」
- ・保育所等訪問支援「陽(ひなた)」

\*連絡先：042-704-9437 (土井・松浦)